

回 覧

令和7年度 校報



いっぽんぎ

今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子（知）
- おもいやりのある子（徳）
- たくましい子（体）

滝沢市立一本木小学校

令和7年12月 8日

第16号 文責：亀 丸

盛岡税務署から表彰されました

本校は税務署が主催する租税教室を毎年実施しています。6年生は社会科の学習で、日本国憲法と、国や地方公共団体の政治について学習します。その中で、「租税の役割」や「納税の義務」を取り上げ、税金が国民生活の向上と安定に使われていることを学習します。この学習をより深めるために、専門的な立場の方から、税について教えていただく機会として、毎年租税教室を毎年開催していました。

今回長年にわたり租税教室を開催し租税教育を推進していることに対し、盛岡税務署長様から感謝状をいただきました。

盛岡税務署長の齋様から、子ども達でも、買い物をすると消費税を納めていることや、納めた税金の使途についてお話をいただきました。税金が自分達の暮らしを安定した豊かなものにしていること、納税の義務を果たすことの大切さを新たにしました。



体育館の改修工事が終了しました

5月から始まった体育館の大規模改修工事が11月をもって終了しました。7か月にわたる工事により、快適に学習できる素晴らしい体育館に生まれ変わりました。気密性が高まったことで、外気温に大きく左右されることなく、雨音も気にならなくなりました。トイレや用具室の扉も軽く操作しやすいものに変わり、用具の移動等が大変しやすくなりました。

子ども達の安全を確保しながら、子ども達の学習の妨げにならないよう細やかな配慮をしながら工事をしてくださった方々に、感謝の気持ちを伝える会を開催しました。会には、樋下建設株式会社の小國様と吉田様にお越しいただきました。

会では各学年の代表児童が新しくなった体育館の感想や使い心地等を交えながらお礼の言葉を述べました。その後、全校児童で書いた感謝の寄せ書きを贈りました。

現場監督の小國様からは、下校時子ども達が、「さよなら、頑張ってください。」などと声をかけてくれてとても励みになったことや、ご自身の会社にも若い方や女性の方が入社して活躍していること、将来大人になったとき、建設の仕事に興味をもったとき、自分達の会社を思い出してほしいことなどをお話しいただきました。

全校で感謝の思いを表すだけではなく、これからも大切に使っていこうという思いをもつことができたよい会になりました。



いのちの授業

12月4日（木）に、4年生で「いのちの授業」が行われました。「いのちを感じ、自分を大切する時間」をテーマに、ハッピーバース研究会の助産師加藤忍様と後藤麻衣子養護教諭の指導により学習しました。「自分を大切にする3ステップ」である、「知ること」、「守ること」、「大切にすること」について考えを深めていきました。



まず、命の始まりの大きさでは、受精卵の大きさについて学習しました。そして、胎児の心音聴取体験をしました。その後、赤ちゃんを迎える家族の想いに共感し理解を深めるために、沐浴人形のだっこ体験や、妊婦ジャケットを着用して、お腹の中に赤ちゃんがいる時のお母さんの大変さを体感しました。赤ちゃんは、家族のみんなに祝福されながら誕生していくことを感じ取ることができました。

後半は、友達の体をかたどった台紙を使って、プライベートゾーンや、思春期の体の変化について学習しました。命や自分についてよく知ること、そして得た知識を活用して自他を守ることこそが、自分を大切にすることにつながることを学んだ子ども達でした。



キャップハンディ体験

12月3日（水）に1・2年生を対象に、キャップハンディ体験学習を実施しました。6学年は認知症について、5年生は白杖体験、4年生は点字の学習、3年生は手話体験と、学年によって様々な体験学習を行っていましたが、1・2年生はユニバーサルスポーツを体験しました。これは障がいのある方でも障がいのない方でも一緒になって楽しむスポーツです。子ども達はいくつかのグループに分かれ対戦することで、ゲームを楽しみますが、その中で、障がいのある方の困難さを実感していきます。

今年度のキャップハンディ体験はすべて終了しましたが、これらの学習を継続していく中で、共生社会の実現に向けて、自分達には何が必要で何ができるのかということを、気づき考え、行動できる人になってほしいと思います。



最初は普通に輪投げを楽しめます。特に困難さはありません。

次に椅子に座って輪投げをします。とても投げにくくなります。車いすで生活する方の困難さに気づきます。

